(平成25年6月作成)

事務事業シート（実施計画事前基礎シート）

(H.25)No.	1095	(H.24)No.	1095

事務事業名	草木類リサイクル事業	
担当部局名	担当室名	室長名
産業部	産業政策室	井面　清司

会計区分		事業コード	306501
一般会計		(中事業名) ※予算書事業名	
款	農林水産業費	草木類リサイクル事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業総務費	草木類リサイクル事業	

1．事務事業の位置付け

総合計画	政　策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施　策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	2	リサイクル
重点施策コード		4-1.資源循環型社会の構築（廃棄物の減量・資源化の推進）	

2．事務事業の概要

事業目的（めざす効果）

草木類を破砕することで、それ自体の減量化につながるとともに、堆肥化などを行うことにより資源のリサイクルを図ることができる。

事業内容

各地域活動で発生する草木ごみの処理を行う必要性が年々高まる中、草木類のチップ化・堆肥化など循環型社会の推進のため、シルバー人材センターにこれらの破砕作業を委託する。

3．総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度（事業量・取組実績）	H.25年度（事業量・取組計画）	H.26年度（事業計画）	H.27年度（事業計画）	H.28年度（事業計画）
主な事業の実績・計画	●委託料　2,496,900円 ・草木類リサイクル事業委託 草木類取扱量 草　504t 剪定枝　191t 合計　695t	草木類リサイクル事業委託 2,356千円	草木類リサイクル事業委託 2,356千円	草木類リサイクル事業委託 2,356千円	草木類リサイクル事業委託 2,356千円

		H.24年度（決算見込）	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度（計画予算）	H.27年度（計画予算）	H.28年度（計画予算）
①直接事業費		2,497千円	2,356千円	2,356千円	2,356千円	2,356千円
内訳（千円）	国・県支出金					
	地方債					
	その他（　）					
	一般財源	(0)　2,497	2,356	2,356	2,356	2,356
人工数	職員	0.18人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
	臨時職員等					
②概算人件費		(0千円)　1,386千円	1,232千円	1,232千円	1,232千円	1,232千円
①+②総事業費		(0千円)　3,883千円	3,588千円	3,588千円	3,588千円	3,588千円

4．担当室による事務事業の点検 （*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外）

考察（H.24年度の取組評価、課題）	今後の対応方針（課題解決への取組、工夫・改善の内容）
平成23年度に引き続き、草木類のチップ化により資源化につなげることができた。しかしながら、民間での取組もあることから、事業の内容等について検討が必要である。	市民活動を通じて発生する草木ごみの資源化については、これまでにある程度達成しており、民間での取組も進んでいることから、手法等について検討が必要である。

点検項目	内容（施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容）
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B（いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献）	草木ごみの資源化・ごみの減量に貢献している。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している（※実践内容を記載→）	市民活動により発生する草木ごみを受け入れ、資源化を図っている。

5．今後の方向性（担当室による内部評価）

【選択肢】
継続（改善）、継続（現行）、継続（拡大）、継続（縮小）、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了（予定含む）

統合検討

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由

生活環境部で実施しているごみゼロ推進施策と本事業とは密接な関わりがあり、事業統合を図ることにより効率的・効果的な事業展開を図れる可能性があるため、事業統合を検討する必要がある。

6．事務事業の取組に関係する主な市の計画

第2次なばり快適環境プラン
ごみゼロ社会を目指すアクションプラン